



平成30年度 事業計画

＜ 本 部 （P02～03）＞

＜柏さかさい保育園(P04～06)＞

＜柏中央保育園(P07～09)＞

＜牛久みらい保育園(P10～13)＞

＜柏しんとみ保育園(P14～16)＞

＜柏 ECEC 保育園(P17～18)＞



平成30年度 社会福祉法人 童心会 事業計画

■ 事業運営

平成 30 年 4 月 1 日から新たに「柏 ECEC 保育園」が開園される。この運営は勿論新たな保育理念と実現を高め、且つ組織力と人材育成を強化する。よって、継続的に保育所からはじめる地域コミュニティとして地域活性化を図り、保育の質を向上させるため『部会議と研修』の他に職員から専属相談役(仮名称)を設置して職員のケアを強化する。また、3カ年計画が終わり精査する年となる。改めて、『組織(もの)・人材育成(ひと)・事業拡充(しきん)』の成果と次にながる計画を策定する。

■ 事業体制

(1) 保育園事業

柏市	： 柏さかさい保育園	120 名	定員(145 名 弾力運営あり)
柏市	： 柏中央保育園	90 名	定員(109 名 弾力運営あり)
牛久市	： 牛久みらい保育園	90 名	定員(92 名 弾力運営あり)
柏市	： 柏しんとみ保育園	90 名	定員(109 名 弾力運営あり)
柏市	： 柏 ECEC 保育園	70 名	定員(79 名 弾力運営あり)
合計:460 名(最大 534 名)			

(2) 職員体制

理事長	：	1 名
園 長	：	5 名(うち業務執行理事 1 名)
主任保育士	：	5 名
保育士	：	102 名(うち派遣保育士 10 名)
看護師	：	4 名
みなし保育士	：	11 名(柏市特別配置)
栄養士	：	3 名
調理員	：	14 名(うち保育士資格者 3 名)
事務員	：	8 名(うち保育士資格者 4 名)
アシスタント	：	10 名(うち障害職員 3 名)
相談役(仮)	：	1 名(H29 年度定年退職職員)
合 計	：	<u>164 名</u>

※ H30 年 4 月 1 日現在の構成となるが、継続的に人員は確保する



(3) 広報活動

「保護者、園児、地域」の方に、当法人に対する理解及び保育の本質を伝えられるようネット情報を有効活用する。また、毎年行われている理事長自らの講演や外部研修会に積極的に参加する。

他、実習生を積極的に受入、人材確保の目的とした活動も実施する。

■ 組織強化

引き続き、理事長 中山勲氏を、継続的にアドバイザー職とし『法人全体の運営・広報・育成』に集中させ、新たに定年退職をむかえた職員を相談役(仮名称)と業務執行理事(現場の統括園長)と協働にて保育現場への理念と目標を助言させ、理事長の補佐役として推進する。

■ 人材育成

H29 年度までの各部会構成を編成する。

国からの処遇改善を受け『園長会、主任・保育リーダー、専門リーダー会、サポート会、保育所保健会、美味しい献立会、事務会』へ共通理解及び研修の場を一新する。また、内外部講師と共に人材育成プログラムをアップデートする。

全職員を対象にした人材育成と教育

- ☛ 外部講師：全職員を対象にカテゴリー別に未来の人材育成
- ☛ 内部講師：保育に関連する業務関連の教育

■ 事業拡充

- ① 情報収集：都市部の現状と公設民営なども視野に入れていく
- ② 園庭拡充：継続的に推進(柏さかさい保育園の園庭拡充)
- ③ ベンチマーキング：幅広い分野との比較・分析と未来経営策定
- ④ 各園とも衛生の環境構築及び修繕推進

■ 補充事業

- ① 外部環境の活用(園バス活用の強化)
- ② 人材管理の強化として、採用・退職・育成・ケアの分野を推進
- ③ 不正事故の防止策と運営の強化



平成30年度 柏さかさい保育園 事業計画

■ 保育目標

通園児童は、保護者が就労する時間、育ての親である保育士とたくさんの愛情の中で、経験体験を通して「思いやり と 生きる力」を育み安心して暮らしていく。その中で、がんばること(心の力)、つづけること(学びの力)、がまんすること(体の力)を身につけ、笑顔・挨拶・思いやり・感謝の約束を常に心がけ、興味・関心・好奇心・意欲・意志を育て規律ある生活習慣を図る。

■ 特別保育事業

1. 延長保育(18:00～20:00)
2. 一時預り保育事業(第二種社会福祉事業)
3. 乳児保育(産休明け)
4. 障害児保育
5. 地域子育て支援拠点事業(第二種社会福祉事業)
6. 地域交流事業(誕生会・三世代交流・その他)
7. 障害者や中高生の為の職場体験事業(インターシップ事業)
8. ファミリー交流事業(四季のまつり)
9. つどいの広場(出前保育)
10. 社会見学・屋外活動・ボランティア活動

■ 園児数(H30.4.1 現在)

クラス	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	合 計
人 数	20	25	24	24	22	24	139

※ 内 4 名 加配必要園児

■ 職員構成

職員	理事長	園長	主任 保育士	保育士	栄養士	調理員	事務員	みなし 保育士	アシスタント	合計
人員	1	1	1	29	1	5	4	4	4	50

※ 事務は本部業務も兼ねる

※ 保育士 1 名は病欠のため長期休養中

※ 障害職員 2 名(保育アシスタント及び清掃担当)



■ 年間行事予定

月	行 事
4 月	入園式、進級式、春まつり(保育参観、懇談会、保護者総会),10 〃ウォーク(さくら)
5 月	こどもの日の集い、尿検査(4, 5 児)、遠足、個人面談、歯科検診
6 月	内科検診、個人面談、スポーツテスト(4, 5 歳児)、お泊り保育(5 歳児)
7 月	七夕会、お泊り保育 (4 歳児)、視力検査(5 歳児)
8 月	夏まつり、異年齢地域交流
9 月	お泊り保育(たんぼぼ組)、視力検査委(4 歳児)、引き渡し訓練、敬老の日の集い、水泳大会(さくら組)
10 月	ボランティア活動、親子運動会、食育、歯磨き指導(幼児組)、大根堀り
11 月	交通安全指導、5 〃ウォーク、マラソン、遠足
12 月	クリスマス生活発表会、もちつき
1 月	冬まつり、マラソン記録会
2 月	節分、マラソン交流会、お店屋さんごっこ、卒園遠足(さくら組)、内科検診、視力検査(3 歳児)、他園との交流会、お兄さん・お姉さんありがとうの会

※ 毎月行事:誕生会・避難訓練・身体測定・ボランティア活動・映画会

※ 誕生会:保護者の方も参加し、保育参加をしていただきます。

■ 地域貢献

- ・ 『夏まつり』 ポスターなどで地域の方へも広く呼びかけをすると共に、近隣の方々へはご挨拶を兼ね、チケットを配布し交流を持つ。また、地元のスーパーに協賛していただき地元の活性に繋げるよう促す。
- ・ 『子育て支援』 広報活動を積極的に行い、より多くの方々への子育てに対する不安を聞き、子育てに対する手助けをする。
- ・ 『公園里親活動』 2,3,4,5 歳児が園周辺の清掃活動や公園のトイレの清掃を行い地域へ対するボランティア活動を行う。
- ・ 小学校接続を目的にした、幼保小連携及び小学校との交流会(こどもたち&職員間)を積極的に実施していく
- ・ 近隣の中学生の職場体験、高校のインターシップ、支援学校の職場体験の受け入れを積極的に行い、未来の親作りの手助けをする。



■ H30年度 保育活動

乳児・1歳から3歳未満児保育においては、カンガルーケア、抱きしめ言葉を日常の基本とし、安心して過ごす環境を整え、外環境や身近なものとの関わりから五感を刺激し見て学ぶ保育を提供していく。幼児組は昨年引き続き、2週に1回、4、5歳児対象に外部委託の専門員による体操指導。音楽リズムを通して、五感を刺激し情緒の安定を図る。また、4、5歳児対象に楽器に触れ音楽指導を行う。

■ 自然とのふれあい

柏さかさい保育園近隣の日暮誠さんの畑で、大根堀の体験や近隣の拡大した公園での活動を取り入れる。

■ 保護者との協同

保護者会役員との協力体制を強化し「生みの親・育ての親」を改めて意識し協同する。また、「おやじの会」との連携も引き続き推進し、父親の育児参加や保育園活動（夏まつり、親子運動会の参加等）の発展に繋げていく。



平成30年度 柏中央保育園 事業計画

■ 保育目標

- ・育ての親である職員全員が園児一人一人の『愛された育ち』を保障し、保育方針にもある「ぎゅっとして・みつめて・きいて・よんで」を忘れずに生活する。
 - ・安心できる保育生活の中で、新しい経験体験、チャレンジを意識した保育活動を展開できるよう心掛け、がんばること(体の力)、つづけること(学びの力)、がまんすること(心の力)を大事に、規則正しい生活習慣を図る。
 - ・仲間との集団生活の中で、相手の気持ちを考えられる、『思いやりの心』が育めるよう意識した声掛けを心掛けると共に、異年齢交流も大事にする。
 - ・園庭がなくても体を動かす楽しさを感じることができるよう園外活動を行い、イキイキワクワクハラハラドキドキを感じながら経験体験ができるような保育を心掛ける。
- みんなの広場でのリズムにあわせた音楽リズム遊び、運動遊び(2週に1回)、及び週1回の遠距離散歩(スペシャル・ディ)、園バス(2歳児以上)での園外活動も月2回取り入れる。

■ 特別保育事業

1. 延長保育
(短時間 朝 7:00～8:29・16:31～20:00 通常 18:01～20:00)
2. 一時預り保育事業(第二種社会福祉事業)
3. 乳児保育(産休明け)
4. 障害児保育
5. 地域子育て支援拠点事業(第二種社会福祉事業)
6. 地域交流事業(誕生会・三世代交流・その他)
7. 障害者や中高生の為の職場体験事業(インターシップ事業)
8. ファミリー交流事業(四季のまつり)
9. つどいの広場(出前保育)
10. 社会見学・歩行訓練・屋外活動・ボランティア活動
11. 公園里親活動(柏西口第一公園・豊四季台公園)

■ 園児数(H30.4/1 現在)

クラス	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
人数	11	19	18	19	21	18	106

※内5名障がいあり



■ 職員構成

職員	園長	主任保育士	保育士	栄養士	調理員	事務	アシスタント	みなし保育	合計
人員	1	1	21	0	3	1	2	4	33

■ 年間行事予定

月	行 事
4 月	入園・進級式・春まつり・お花見・バス遠足
5 月	子どもの日の集い・10 キロウォーク(年長)・大根掘り・尿検査
6 月	歯科・内科健診・個人面談・保育参加・5 歳児お泊り保育・プール開き
7 月	七夕の集い、お泊り保育 (4 歳児 1 泊 2 日)・夏まつり
8 月	消防署見学(4・5歳児)・お泊り保育 (3 歳児)
9 月	引き渡し訓練、おじいちゃん・おばあちゃんふれあいパーティー・視力検査
10 月	ボランティア活動、親子運動会、秋まつり、ハロウィンパーティー
11 月	交通安全教室・第1回マラソン記録会
12 月	クリスマス生活発表会、内科健診、クリスマスクッキング・ボランティア活動
1 月	第2回マラソン記録会・年長児学校訪問、
2 月	節分・豆まきの会、歯科健診、4 園合同マラソン交流会、冬まつり(懇談会)
3 月	ひなまつりの集い、入園説明会、卒園遠足、卒園式、修了式、ありがとうの会・地域と合同避難訓練

※ 毎月行事:誕生会・避難訓練・身体測定

※ 誕生会:お子様の誕生月に保護者の方をご招待

■ 地域貢献

- ・ 『夏まつり』
豊四季台公園で参加型の夏まつりを開催
- ・ 『子育て支援』
妊娠期からの親育てを大事に、子育ての不安を喜びに変えられるような場所になればと考える。子どもへの関わり子育てのヒントとなるような



活動を定期的に行い、不安喜びを伝えあえるような仲間になれるよう架け橋にしていく。

- ・『公園里親活動』

日頃から利用している公園がいつもきれいに保てるようゴミ拾い等の清掃を行う。

■ 地域性の活動

柏中央保育園は園庭がないため、毎週水曜日をスペシャルディとし、目標を持って、朝 9 時から遠方に散歩に行ったり、買い物をしたり、園バスや公共のバスや電車を利用し園外での活動をするなど十分に楽しみながら活動を行う。 また、幼保小の交流も大事にする

■ 保護者のニーズ

- ・脳刺激、リズム感を養うために音楽リズム遊び
→年長児・年中児
- ・専門職員からの鍵盤ハーモニカ指導
→年長児
- ・2 週に 1 回、外部委託の専門員運動指導

■ 自然とのふれあい

- ・柏さかさい保育園近隣の日暮誠さんの畑で、大根掘り体験

■ 保護者との協同

保護者会役員との協力体制を強化し「生みの親・育ての親」を改めて意識し協同すると共に「おやじの会」との連携も引き続き推進し、父親の育児参加や保育園活動の発展に繋げていく。

保護者が保育参加できる期間を作り、希望者に日頃の園の様子を見て頂く機会を作る。

冬まつりは、子どもたちにとって思い出に残る楽しい一日になるよう保護者と職員が協力しておまつりを開催。



平成30年度 牛久みらい保育園 事業計画

■ 保育目標

「思いやりと生きる力」を伸ばすことを大きな目標とし、そのために一人ひとりに愛情深く接し、保育方針にそって、より良く見つめ・抱きしめ・耳を傾けて良く聴き・たくさん話しかけながら日々子どもに向き合っていく。子ども達が意欲的に活動できるように、毎日の生活がわくわく楽しめるような保育を工夫し、活動を通してがんばること(心の力)、つづけること(学びの力)、がまんすること(体の力)を身につけていくことを目標とする。

■ 特別保育事業

1. 延長保育(6:30～7:00 18:00～20:00)
2. 一時預かり保育事業(第二種社会福祉事業)
3. 乳児保育(産休明け)
4. 障害児保育
5. 地域子育て支援拠点事業(第二種社会福祉事業)
6. 地域交流事業(誕生会・三世代交流・その他)
7. 障害者や中高生の為の職場体験事業(インターンシップ事業)
8. ファミリー交流事業(四季のまつり・保育参観・みらいファミリー会)
9. 社会見学・歩行訓練・屋外活動・ボランティア活動
10. 休日保育
11. 病後児保育(体調不良児含む)

■ 園児数(H30.4. 1現在)

クラス	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
人数	7	15	17	16	15	20	90

■ 職員構成(H30.4. 1現在)

職名	園長	主任 保育士	保育士	調理員	事務	アシスタント	看護師	合計
人員	1	1	20	1	1	1	2	27



■ 年間行事予定

月	行 事
4 月	入園式、茨城大 梨の花の観察、こどもの日のつどい
5 月	バス遠足、春まつり(保育参観・懇談会)、田植え体験(5 歳児)
6 月	内科健診、歯科健診、歯みがき指導、個人面談、パパ保育体験、公開保育、お泊り保育(4・5 歳児)、サツマイモ苗植え
7 月	プール開き、七夕の集い、じゃがいも掘り、食育指導(牛久市)
8 月	夏まつり、視力検査(4 歳児)、梨狩り体験、プール納め
9 月	稲刈り体験(5 歳児)、お泊り保育(3 歳児)、おじいちゃん・おばあちゃんふれあいの会、音楽鑑賞会
10 月	親子運動会、さつまいも掘り(4・5 歳児)、秋まつり
11 月	マラソン記録会(1 回目)、バス遠足、筑波山登山(5 歳児)、人参掘り(3 歳児)
12 月	給食試食会(5 歳児)、クリスマス生活発表会、もちつき、大そうじ
1 月	内科健診、歯科健診、マラソン交流会(4 歳児)、昔遊びの会(5 歳児)
2 月	節分・豆まきの会、冬まつり、マラソン交流会(5 歳児)、マラソン記録会(2 回目)、H31 入園説明会、パンづくり体験(5 歳児)
3 月	ひなまつりの集い、卒園遠足、ありがとうの会、卒園式、入園前保育体験会、園外保育の日

毎月行事: 誕生会・非常災害訓練・身体測定・映画会(乳児・幼児)・交通安全教室・ボランティア活動
 誕生会: お子さまの誕生月に保護者の方を招待し、保育参観・お食事をさせていただく

■ 地域貢献

- ・ ひたち野うしく地区は、新しい街づくりを進めて地域コミュニティづくりをしている地区という特性がある。夏まつりは、ひたち野うしく小学校で行われる地域の夏まつりに参加し、また保幼小連携で地域の学校・園との交流を深めていく。
- ・ 昨年度好評だった「ママのおしゃべり会」「音楽リズムあそび」を中心に計画をしながら 0・1 歳児をもつママたちでも園に来やすく親しんでもらえる活動を充実させていく。また地域のニーズに合わせた子育て支援活動を実施できるように情報の収集や外部への情報発信に取り組んでいく。



- ・ 市と連携し、ボランティア活動として、散歩に行ったときにゴミ拾いを行っている。

■ H30年度 保育活動

- ・ 運動は、専門指導員崎野先生による体操指導を月 2 回取り入れていく。(4・5 歳児)
- ・ 音楽は、昨年に引き続き、リズム遊び、ピアノカの指導を系統立てて行っていく。また、新たに全体での歌声集会を月 1 回行っていく。
- ・ 絵画制作活動について、年齢に合わせて系統立てた指導を組み立てていく。
- ・ 幼児組では毎月、個々に月刊絵本を購入している。子どもたちが好奇心をもって心が豊かになるように日々の保育に取り入れ、文字や絵への興味関心を深めていく。
- ・ 知的好奇心を高めていく活動を取り入れ、室内活動をより豊かにしていく(書くこと・描画表現)
- ・ 看護師による保健活動は身体健康づくりだけでなく、命の大切さやマタニティ体験等を通して心の育ちも考えていく。
- ・ 食育活動は調理室と連携しながら、野菜の栽培や収穫、茨城大学農学部での活動、日常生活で食を楽しむ経験を多く取り入れていく。

■ 病後児保育

事業開始5年目に入り、引き続き保健センターでの事業案内、市内小学校児童クラブへのパンフレット配布など積極的に広報活動をすすめていくとともに、4年間の実績を踏まえ、牛久市、医師会と連携して、より利用しやすい事業を目指す。

■ 他機関との協同

茨城大学農学部での農業体験

梨の花の観察、田植え、さつまいも苗植えなど、収穫だけではなく、年間を通して作物の成長を感じられるように、季節に合わせた活動を行っていく。今年度も連携をとりながら自然とのふれあい、食育についての興味・関心をさらに深める楽しい活動を取り入れていく。



■ 保護者との協同

保護者会『みらいファミリー会』の活動が3年目を迎える。

昨年度同様に夏まつりでの出店、秋まつりでの職業紹介、ファミリー文庫貸出、おそうじ会、発表会での合唱、フォトコンテストなど保護者が保育園に協力しながら、保護者同士のつながりを深め、子どもたちとのかかわりを楽しめるようにし、童心会が目指す“村づくり”を進めていく。



平成30年度 柏しんとみ保育園 事業計画

■ 保育目標

「思いやりと生きる力」を伸ばすことを大きな目標とし、保育方針にそって、愛情深く、より見つけ・抱きしめ・耳を傾けて聴き・たくさん話しかけながら、日々子ども達一人ひとりに向き合っていくこと。その為に、『がんばること(心の力)、つづけること(学びの力)、がまんすること(体の力)』を身につけ、「笑顔 挨拶 思いやり 感謝」の心を育てながら、「興味・感心・意欲・意志」を感じられることを目標とする。

また、柏中央保育園、柏さかさい保育園との連携もより深め、マラソン交流会、運動遊びなどの体力作りを意識し、刺激し合える仲間づくりの活動も意図的に取り入れる。

■ 特別保育事業

1. 延長保育(18:00～20:00)
2. 一時預り保育事業(第二種社会福祉事業)
3. 乳児保育(産休明け)
4. 障害児保育
5. 地域交流事業(誕生会・三世代交流・その他)
6. 障害者や小学生、中高生の為の職場体験事業(インターシップ事業)
7. ファミリー交流事業(四季のまつり)
8. 社会見学・歩行訓練・屋外活動・ボランティア活動(公園里親登録)

■ 園児数(H28.4/1 現在)

クラス	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	合 計
人 数	8	18	19	19	18	19	101

■ 職員構成

職 員	園 長	主任 保育士	保 育 士	栄 養 士	調 理 員	事 務	みな し保 育 士	アシ スタ ント	看 護 師	合 計
人 員	1	1	20	0	3	1	3	1	1	31

※ 保育士は園児数増に伴い2名追加採用予定
(扶養内勤務職員4名、育児時短勤務1名)



※ 出産予定の為休暇職員1名(7月)

※ 加配必要園児3歳児1名

■ 年間行事予定

月	行 事
4 月	入園式、進級式、お花見、子どもの日の集い
5 月	春まつり、尿検査(4, 5歳児)、バス遠足、手賀沼ウオーク(5歳児)、歯磨き指導、
6 月	個人面談、スポーツテスト、歯科検診、視力検査(5歳児)、内科検診、お泊り保育(5歳児)、消防訓練、
7 月	プール開き、七夕の集い、お泊り保育(4歳児)、夏まつり、
8 月	お泊り保育(3歳児)、プール納め、
9 月	引き渡し訓練、敬老の集い
10 月	親子運動会、秋まつり(鑑賞会)、秋の遠足会(2・3・4・5)、メグミルク工場見学(4歳)、カスミ食育体験(5歳)
11 月	交通安全教室、大根掘り
12 月	クリスマス生活発表会、マラソン記録会、冬まつり(おもちつき大会)、大掃除
1 月	冬まつり、マラソン交流会、年長児学校訪問、内科検診、
2 月	節分・豆まきの会、4園合同マラソン交流会、卒園遠足(5歳児)、視力検査4歳児
3 月	ひなまつりの集い、入園説明会、お兄さんお姉さんありがとうの会、卒園式

※ 毎月行事:誕生会・避難訓練・身体測定、ボランティア活動、食育活動
乳児、幼児映画会

※ 誕生会:お子様の誕生月に保護者の方をご招待、お食事と保育参観

■ 地域貢献

- ・ 『夏まつり』 地域へ発信し地域参加型の夏まつりを行う。
- ・ 『地域交流会や子育て支援』を独自に活動に行い、地域密着型を目指す活動及び子育ての不安を喜びに変えられるような場所になればと、園内見学、園庭開放を行い、園児との関わりの中から沢山の発見とお互いの学びの場となるようにと考え行う。
- ・ 小学校接続を目的にした、幼保小連携及び小学校との交流会(こどもたち&職員間)を積極的に実施していく



- ・ 保育士実習、看護師実習生の受け入れる事で職員自身も見られる事で高い意識をも学び合える機会となり積極的に実施していく。

■ H30年度 保育活動

- ・ 柏中央保育園、柏さかさい保育園との交流会
- ・ 乳児、1歳から3歳未満児保育においては、カンガルーケア、抱きしめ言葉が日常の基本である事に忘れず、安心して過ごす環境を整え、外環境や身近なものとの関わりから、五感を刺激し見て学ぶ、体験して学ぶ保育を提供していく。

幼児組は昨年に引き続き、2週に1回、4、5歳児対象に外部委託の専門員による体操指導。音楽リズムを通して、五感を刺激し情緒の安定を図る。また、4、5歳児対象に楽器に触れ音楽への楽しみや集中力指導を行う。

- ・ 昨年より柏中央保育園音大の先生による、音楽リズム(リトミック)を取り入れ
ている。体操指導も同様であるが、人間形成に欠かせない集中力、自立心、競争心、好奇心、協調性、感受性、即時反応力などと言った要素をバランス良く心と身体、そして脳の発達、自己表現を豊かにする(4、5歳児)。

■ 自然とのふれあい

柏しんとみ保育園、近隣の公園(流山市、柏市)などを多く利用し公共の公園を使用する。その際危険箇所を伝え、歩くマナーを知り伝え、命の大切さを知る良い経験と探検と挨拶を交わす楽しみも生まれ園外活動を取り入れていく。



平成30年度 柏 ECEC 保育園 事業計画

■ 保育目標

既存園のように目標の他に、完全ビル型保育所なため外環境の取り入れた保育を展開する

特別保育事業

1. 延長保育(18:00～20:00)
2. 一時預り保育事業(第二種社会福祉事業)
3. 乳児保育(産休明け)
4. 障害児保育
5. 地域交流事業(誕生会・三世代交流・その他)
6. 障害者や中高生の為の職場体験事業(インターシップ事業)
7. ファミリー交流事業(四季のまつり)
8. 社会見学・歩行訓練・屋外活動・ボランティア活動

■ 園児数(H30.4/1 現在)

クラス	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	合 計
人 数	7	15	13	12	2	2	51

■ 職員構成

職員	園長	主任 保育士	保育 士	栄 養 士	調理員	事務	アシスタント	看 護 師	合 計
人 員	1	1	13	1	2	1	2	1	22

■ 年間行事予定

月	行 事
4 月	入園・進級式・春まつり・お花見・バス遠足
5 月	子どもの日の集い・10 キロウォーク(年長)・大根掘り・尿検査
6 月	歯科・内科健診・個人面談・保育参加・5 歳児お泊り保育・プール開き



7 月	七夕の集い、お泊り保育（4 歳児 1 泊 2 日）・夏まつり
8 月	消防署見学（4・5 歳児）・お泊り保育（3 歳児）
9 月	引き渡し訓練、おじいちゃん・おばあちゃんふれあいパーティー・視力検査
10 月	ボランティア活動、親子運動会、秋まつり、ハロウィンパーティー
11 月	交通安全教室・第1回マラソン記録会
12 月	クリスマス生活発表会、内科健診、クリスマスクッキング・ボランティア活動
1 月	第2回マラソン記録会・年長児学校訪問、
2 月	節分・豆まきの会、歯科健診、4 園合同マラソン交流会、冬まつり（懇談会）
3 月	ひなまつりの集い、入園説明会、卒園遠足、卒園式、修了式、ありがとうの会・地域と合同避難訓練

※ 毎月行事：誕生会・避難訓練・身体測定

※ 誕生会：お子様の誕生月に保護者の方をご招待

※ 内科及び歯科検診は柏さかさい保育園と柏中央保育園と同時実施

■ 地域貢献

- ・ 『夏まつり』 地域と協力して地域参加型の夏まつりを行う。
- ・ 『地域交流会や子育て支援』 独自に活動を行い、地域密着型を目指す活動及び子育ての不安を喜びに変えられるような場所になればと考える。

■ H30 年度 保育活動

- ・ 脳刺激、リズム感を養うために週1回の音楽リズム遊び
→ 年長児・年中児
- ・ 柏中央保育園との交流会強化